

学校通信

けやき小

教育目標 確かな一歩



令和4年2月14日  
西東京市立けやき小学校



e-mail e-keyaki@nishitokyo.ed.jp

## 新型コロナウイルス感染症再拡大の中で

### ～コロナとの共存～

校長 黒羽 次夫

3学期が始まり、1ヵ月半が過ぎました。新型コロナウイルスの新変異株「オミクロン株」による感染が急拡大し、教育活動に大きな影響を受けています。3学期の始業式は、タブレットを使って各教室においてオンラインで実施しました。また、感染拡大防止として1月25日から2月10日まで、今年度2回目のオンライン授業を実施しました。このオンライン授業も、2度延長されました。オンライン授業の実施に伴い、保護者の皆様には多大なご協力をいただきました。

さて、延期している2・4・5年生の音楽発表会ですが、発表する学年の子どもたちが1月29日の発表を目指して演奏する曲を仕上げている中での再度の延長はとても心が痛みました。しかし、オンライン授業期間ということで延期となりました。音楽発表会の延期について、どうぞご理解をいただきたいと思います。

今後の予定ですが、下記のとおり行事を実施する予定です。

けやきミュージアム保護者鑑賞 2月15日（火）から2月25日（金）

午後3時30分から4時まで

2・4・5年生音楽発表会 3月12日（土）（1・3・6年生の登校はありません。）

今年度も残り1ヵ月半となりました。今後もコロナはなくなることはないでしょう。その中で学校は、コロナとの共存を考えて教育活動を実施していかなくてはなりません。今後も「できることをできるところから」やっていきたいと思っています。保護者の皆様並びに地域の皆様には、ご理解とご協力をお願いします。

## 令和3年度 第2回学校評価の報告について

今年度の第2回の保護者の皆様による教育アンケートの自由記述への回答、学校評価報告書です。

・芝久保図書館を通り登校する道で信号のない大きな交差点が2箇所あります。団地の場所です。見通しは良いですが、交通量が少ないわけではないためにとっても危険だと日々感じております。交通安全の方の配置や何か学校で安全対策をしていただけないでしょうか。

→現状では交通擁護員を新たに配置することは難しいです。したがって、他の地区と同じように、地区の方々が子どもたちの登下校の見守りをしていただければありがたいです。改めて、地区委員で情報の共有をさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございます。

・時差通学は廃止にして、完全自由登校にしてはどうでしょうか。結局、靴箱前に児童が集まってしまっているような気がします。自由登校にすることでもっと自主性が出てくるのではないのでしょうか。

→現在の新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策の一つとして、時差登校の継続は続けていきたいと考えております。子どもたちの自主性を重んじることは、大切なことであると思います。

・コロナ禍の中、コロナ前のような通常の活動のような行事を工夫して行ったださり、ありがとうございます。卒業式はどんな形であれ、子どもたちの歌声が校内で、無理なら青空のもとで聞けたり、呼びかけが行われたり、そんな卒業式になったら嬉しいです。

→コロナ禍における卒業式についてのご意見ありがとうございます。卒業式については市全体で方針が示され、残念ですが現在の状況では歌を歌うことはできないことをご理解ください。

・学年通信などホームページにあげてほしいです。

→学年通信のホームページ掲載については、集金のお知らせや個人情報等も含まれますので紙面での配布で対応していきたいと思っております。

# 令和3年度 西東京市立けやき小学校 学校評価報告書(第2回)

## 学校教育目標

- ・自らすすんで学び続ける子(自らすすんで学習し、課題解決に向けて粘り強く取り組む児童) 自己調整力の育成
- ・思いやりのある子(自分を大切にし、他の人も思いやる児童) 人間関係形成力の育成
- ・明るく元気な子(規則正しく生活し、たくましく健やかな児童) 健康の保持・増進と体力の向上

## 確かな一歩

## 目指す学校像(ビジョン)

### 【目指す学校像】

- ・地域とともにある学校

### 【育てたい児童像】

- ・自らすすんで学び続ける子(自らすすんで学習し、課題解決に向けて粘り強く取り組む児童)・思いやりのある子(自分を大切にし、他の人も思いやる児童)・明るく元気な子(規則正しく生活し、たくましく健やかな児童)

### 【求める教師像】

- ・法令を順守する教師 ・「あったか先生」としての教師

## 前年度までの学校経営上の成果と課題

	具体的方策	学校関係者評価	課題と次年度以降の対策
自己調整力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市GIGAスクール構想基本方針による教育活動を行い、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクールやユニバーサル・デザインなど、保護者にとって分かりづらい言葉もある。言葉を丁寧に説明していかなければならない。</li> <li>・保護者から見て、タブレットの誤った使用による生活上の懸念があることが考えられる。</li> <li>・タブレット活用について、成果としては、「ジャムボード」というホワイトボードと付箋の機能でコミュニケーションを図ったり、デジタル教科書等を効果的に活用したりすることができた。課題は、学習と無関係にタブレットを使ってしまう児童がいることである。今後、約束についてしっかりと指導していく必要がある。</li> <li>・「けやきテスト」での得点率アップや教科担任制の浸透が成果として認められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業期間を経て、タブレットの活用の幅も深みも増した。一方で、学習用途以外での児童のタブレット使用の問題が顕在化してきた。児童の自律的な行動を促すため、学習指導だけでなく生活指導の側面からもアプローチし、また、教員研修を更に積み重ね、次年度以降も有効活用の場面を着実に増やしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業におけるユニバーサル・デザイン化を図り、「けやきモデル」を徹底する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期に授業参観の機会を設けたが、「けやきモデル」のよさについての理解が浸透しなかった。学校通信や学年通信等を活用し、「けやきモデル」の広報を積極的に行っていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年で「けやきテスト」を実施し、各教科の習熟状況の分析を行い、個に応じた指導を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の肯定的評価が38パーセントから44パーセントへとやや増加したが、「けやきテスト」の効果についての肯定的な受け止めは依然不十分であると言える。次年度、「けやきテスト」への理解が定着するように方法を工夫して周知を丁寧に行っていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けやきタイム」の充実を図り、個別指導の工夫とともに補充指導及び発展指導を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けやきタイム」の設定が朝のため、保護者への「見える化」が難しく、十分な評価を得ることができなかった。朝学習のよさが伝わるよう、周知の仕方をさらに検討・工夫していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科において習熟度別指導等の充実を図り、基礎的・基本的な知識・技能の定着させ、思考力・判断力・表現力を育成する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度別指導のよさの実感が児童にも保護者にも浸透してきた。課題を抱える児童が更にステップアップしていけるよう、教員の指導・支援の工夫を継続していく。</li> </ul>
人間関係形成力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を励行し、場に応じた正しい言葉遣いや相手の立場に立った思いやりのある言葉遣いへの意識を高めるために職員が「あったか先生」を意識し、手本となって言語環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶については、校内ではできても校外ではできない様子が見られる。特に、交通擁護員さんにはほとんど挨拶ができていないので、できるようになってほしい。</li> <li>・「友達をいじめない、いじめを見て見ないふりをしない」ということについて、「いいえ」と答えている児童が24パーセントいる。このような回答が減ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の時間や道徳の時間を活用して子どもたちに具体的な挨拶の仕方を共通確認していく。コロナ禍のため、全校朝会等タブレットを活用して教室から参加する形にする。その会において、生活指導主任から話をして共通確認を図っていく。学年の実態に応じて挨拶の仕方も変わってくるので、挨拶の基本形を作成する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな社会を生き抜くために、異なる考えをもつ他者とのかかわりや対話を重視した教育活動を展開する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のICT技能を高めるための研修や実践授業の報告等を行い、授業で児童同士の交流ができるようなタブレット活用についての取り組みをしていく。また、学年・学級通信等を活用し授業でどのような活用をしているかを知らせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「西東京市子ども条例」や学校いじめ防止基本方針に基づき、全校でいじめ防止に取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月行う対策会議で共通確認を行い、いじめの早期発見や今後の対応について検討し、組織的に対応していく。毎学期行ういじめの授業や教職員間でのOJT研修をより一層行い、児童や教職員の人権に対する意識を高めていく。</li> </ul>
健康の保持・増進と体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズムカードを活用し、家庭と連携しながら「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の取組は、どのようなものであるか。</li> <li>・児童のオリンピック・パラリンピック応援メッセージが昇降口に展示されていたが、あまり人目に付かない時期であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組を保護者にお知らせする機会が少なかった。コロナ禍でパソコン、タブレット、ゲーム等の電子機器の使用時間が増え、生活リズムが乱れている家庭も増えた。生活リズムカードを実施する学期初めには、学年だよりでもお知らせし、学校と家庭が連携を図れるようにしていく。また、生活リズムカードのICT機器の使用時間を学習以外とし、より詳しく振り返られるようにしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上を図るため、体力・運動能力調査の結果を分析し、体育の授業改善や年間を通じた体力づくりの取組の充実を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の結果を学年ごとに分析し保存することで、次年度の指導に生かしていく。特に、課題のある種目の練習回数を増やし、記録を高めていけるようにしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画されている年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック教育を確実に実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間35時間のオリンピック・パラリンピック実施計画を学年で確認をしながら全教職員が意識して取り組んでいくことはできたが、保護者へお知らせする機会がなかった。そのため、次年度は運動週間を設定し、自分の体と向き合い運動する機会を設け、体力向上を図っていく。運動週間の取り組みを学校・学年通信等でお知らせしていく。</li> </ul>
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の精選及び見直しを図るとともに、主幹教諭を中心とした学校運営を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で変更を余儀なくされる中、教員は本当によく頑張っている。評価基準を見直した方が良いのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度見直した分掌・組織に沿って学校運営を進め、具体的な作業の工夫・改善を実施し、職務の効率化を図ることができた。今後は更にICTを活用した改善に努めていきたい。</li> </ul>

## 2月の行事予定

月	火	水	木	金
1月31日	1日	2日	3日	4日
<b>オンライン授業期間 全学年4時間授業（分散登校・相談日13:30～16:30）</b> <b>（ 預かり児童 8:15登校 / 12:15下校 ）</b>				
避難訓練（オンライン） 5年生教材等配布日 (13:00-14:00)	SC			
7日	8日	9日	10日	11日
<b>オンライン授業 全学年4時間授業（預かり児童8:15登校/12:15下校）</b>				建国記念の日
登校・相談日 (3年・4年)	登校・相談日 (1年・6年)	登校・相談日 (5年)	登校・相談日 (2年※中止)	
14日 A 1・3・6年 B 2・4・5年	15日 A 1・3・6年 B 2・4・5年 SC けやきミュージアム 保護者鑑賞始	16日 A 1・3・6年 B 2・4・5年 委員会活動	17日 A 1・3・6年 B 2・4・5年	18日 A 1・3・6年 B 2・4・5年
21日 A 2・4・5年 B 1・3・6年	22日 A 2・4・5年 B 1・3・6年 SC	23日 天皇誕生日	24日 A 2・4・5年 B 1・3・6年	25日 A 2・4・5年 B 1・3・6年 けやきミュージアム 保護者鑑賞終
28日 A 1・3・6年 B 2・4・5年				

**A 8時15分登校 B 8時25分登校**

SC：スクールカウンセラー来校日

生活目標 休み時間（内遊び）のきまりを守ろう